

シナジス接種について

GYOTOKU GENERAL HOSPITAL

秋から春まで流行し、早産や先天性心疾患などのお子さんに重篤な呼吸障害を引き起こすことがあるRSウイルス（Respiratory Syncytial Virus）というウイルスがあります。

RSウイルス感染による重篤な下気道疾患の発症抑制のために下記の新生児、乳児、幼児を対象にシナジスという薬を毎月1回注射することで重症化を抑えることができるとされています。

- 対象
- ① 在胎期間28週以下（28週6日まで）の早産で、12か月齢以下の新生児および乳児
 - ② 在胎期間29～35週（29週0日～35週6日まで）の早産で、6か月齢以下の新生児および乳児
 - ③ 過去6か月以内に気管支肺異形成症（BPD）の治療を受けた24か月齢以下の新生児、乳児および幼児
 - ④ 24か月齢以下の血行動態の異常がある先天性心疾患（CHD）の新生児、乳児および幼児
 - ⑤ 24か月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児
 - ⑥ 24か月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児
（月齢は、そのシーズンのシナジス接種開始時のもの）

当院では、毎年9月から翌年の4月までのRSウイルスが流行する時期に季節限定でシナジスの注射を予約制で行っています。他の予防接種や乳幼児健診と同じ時間に予約することもできますので、もし出生した医療機関からシナジス接種を進められている場合はお問い合わせください。

当院の予防接種および乳幼児健診の時間は月～金曜日の14時～15時（インフルエンザ予防接種実施期間のみ13時30分開始）となっております。